

# UCHIYAMA SUSTAINABILITY REPORT

—ウチヤマサスティナビリティーレポート—

# 2024-2025



## コルク樺の木

コルク樺は、地中海沿岸の地域で育つブナ科の常緑樹です。樹皮を剥がしてコルク栓などに使われますが、樹皮を剥がされたコルク樺は大量のCO<sub>2</sub>を吸収しながら、約9年で樹皮を再生します。約200年の樹齢の限り、持続的にコルクを採取し続けることができる、地球にやさしい樹木です。1898年にコルク栓の製造から創業した内山工業では、シンボルツリーとしてコルク樺を植樹しています。

# サステイナブル経営の考え方

## ウチヤマグループ経営理念

会社を愛する人間集団として、将来に向かって挑戦するとともに、地球的感覚を養い、世界に誇れる製品を提供し、そしてお互い助け合い、信頼し、幸福への道を開拓するために積極的な行動をとり、温かい心を持って、いつまでも発展することを目指します。

## 「Perpetual Evolution=永遠の進化」

ウチヤマグループがかかる中期計画の総称。中期経営ビジョンを原則3年毎に更新し、従業員が具体的に目指す姿を明確にしています。2024年10月から2027年9月をPerpetual Evolution7としています。

## 経営理念

## 中期経営計画

— 永遠の進化 —

## 「Perpetual Evolution」

取引先

お客様

環境

従業員

地域社会



ステークホルダーの皆様と共に進めるCSR



リスクマネジメント

ウチヤマグループは1898年の創業以来、世界の皆様から喜ばれる製品作りを通して、社会貢献に努めてきました。サステイナブル経営を実現するため、経営理念を基軸とし、具体的な目標を中期経営計画にて定め、永遠の進化のために従業員一丸となって挑戦を続けています。利益の追求のみでなく、ステークホルダーの皆様と共に歩み続けるため、経営理念に基づいたCSRのテーマを定め、社会的責任を果たすよう真摯に事業活動を行っています。

# CSR 8つのテーマと項目

## ①安全・人権・労働

3P～7P

- ・労働安全衛生方針
- ・女性の活躍
- ・安全宣言
- ・代表的な取り組み(人権)
- ・労働安全衛生マネジメントシステム
- ・労働に関する考え方
- ・安全衛生管理体制
- ・平均残業時間
- ・労働災害、通勤・業務中交通事故
- ・有給休暇・育児休暇
- ・代表的な取り組み(安全)
- ・代表的な取り組み(労働)
- ・人権に関する考え方
- ・外国人従業員の採用
- ・障がい者の雇用環境

## ③環境

9P～12P

- ・環境理念
- ・全般に関する取り組み
- ・環境方針
- ・環境マネジメントシステム
- ・ISO14001 運用管理体制
- ・長期環境目標と実績
- ・製造に関する取り組み
- ・開発に関する取り組み
- ・調達に関する取り組み
- ・物流に関する取り組み

## ⑤社会貢献

17P～19P

- ・基本的な考え方
- ・代表的な取り組み

## ⑦品質

21P～22P

- ・品質方針
- ・品質マネジメントシステム
- ・IATF16949 運用管理体制
- ・代表的な取り組み

## ②コンプライアンス

8P

- ・コンプライアンスの目的
- ・社内体制
- ・代表的な取り組み

## ④リスクマネジメント

13P～16P

- ・事業継続計画 (BCP) の基本理念
- ・企業リスクに対する危機管理の基本方針
- ・対策本部組織図
- ・代表的な取り組み
- ・セキュリティ基本方針
- ・情報セキュリティ管理体制図
- ・代表的な取り組み

## ⑥情報開示

20P

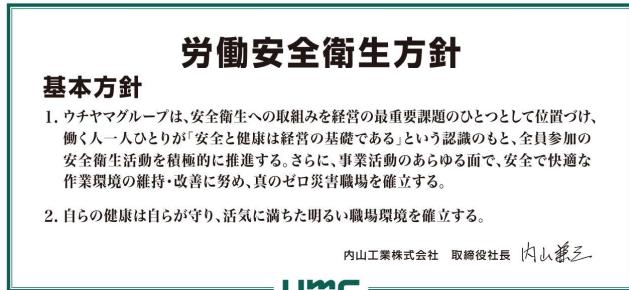
- ・基本的な考え方
- ・情報開示
- ・情報開示の範囲
- ・対話の機会の充実

## ⑧調達

23P

- ・基本的な考え方
- ・サプライヤー CSR ガイドライン
- ・代表的な取り組み

## ■労働安全衛生方針



## ■安全宣言

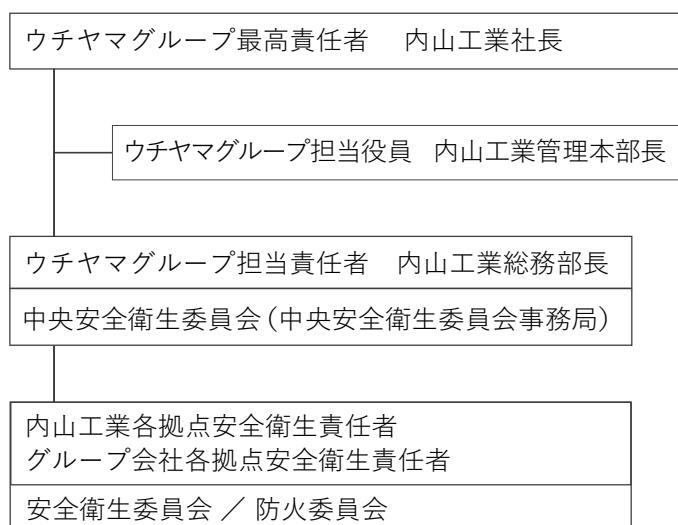


## ■労働安全衛生マネジメントシステム

労働安全衛生マネジメントシステム「OSHMS」に基づいた継続的な安全衛生管理、労働災害の防止、労働者の健康増進、快適な職場環境作りなどに取り組み、安全衛生文化の醸成に力を入れています。

## ■安全衛生管理体制

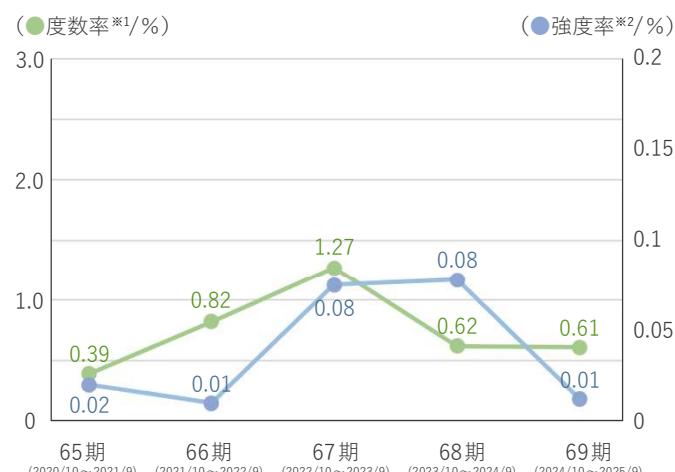
社長を最高責任者とする安全衛生管理体制を組織しています。活動内容は中央安全衛生委員会を経て決定し、各拠点に展開することで、グループ全体で高水準の安全衛生管理レベルを保てるよう、活動を行っています。



## ■労働災害、通勤・業務中交通事故

労働災害及び通勤・業務中交通事故は、発生した災害に対して原因究明、対策立案、社内への横展開まで迅速に行っています。各職場においては、職場安全巡回、ヒヤリハット報告、KYT(危険予知訓練)の実践等により、災害の未然防止に努めています。

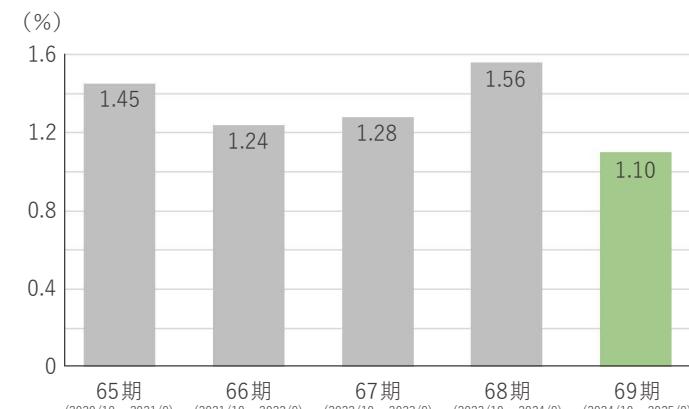
### ――― <労働災害の度数率、強度率の推移> ―――



\*1: 100万時間あたりの休業災害発生確率を表す。(4日以上の休業災害)

\*2: 1,000時間あたりの労働損失日数で災害の重さを表す。

### ――― <通勤・業務中交通事故発生率の推移>―――



\*100人あたりの交通事故発生率を表す。(被害事故含む)

# 安全

## ■代表的な取り組み

### — <安全・品質大会> —

ウチヤマグループ各拠点ごとの安全衛生活動や品質改善活動の成果を発表、表彰する、安全・品質大会を年に1回開催しています。優秀な活動内容をグループ全体で共有し表彰することで、従業員のモチベーションアップ、意識向上を促しています。



2025年度 安全・品質大会の様子

### — <各種安全衛生教育・研修> —

従業員の安全意識の向上と知識の習得のため、雇い入れ時や職長向けなど、階層に合わせた安全衛生教育を実施しています。その他、自社にて作製した装置を使った危険体感研修なども行っています。



安全衛生教育の様子

### — <神奈川県危険物安全協会連合会による表彰> —

内山工業茅ヶ崎工場は、2025年6月に神奈川県危険物安全協会連合会より、危険物災害の防止等に貢献した優良な事業所として表彰されました。



令和7年度表彰式の様子

### — <ストレスチェック> —

従業員の心の健康レベルを引き上げることで、組織の活性化、生産性の向上に繋げるため、ストレスチェックを実施しています。事業所内のみでなく、外部機関（産業医等）によるケアを効果的に推進し、メンタル不調者の早期発見及び支援を促しています。

### — <就業時間内禁煙> —

2023年より、就業時間内の完全禁煙を実施しています。従業員の健康維持に繋がるだけでなく、受動喫煙の防止や職場環境の改善も兼ねて取り組んでいます。



就業時間内禁煙ポスター

### — <健康に関する認定> —

#### 【健康経営優良法人認定】

内山工業は、経済産業省と日本健康会議が選定する「健康経営優良法人2025（中小規模法人部門）」に5年連続で認定されました。



#### 【健活企業認定】

内山工業は2025年も継続して「健活企業」として宣言し、全国健康保険協会より認定されました。2025年度の取り組みでは最高評価のS評価をいただきました。



## ■人権に関する考え方

### <差別の禁止>

当社は、雇用や待遇にあたっては、各人の仕事内容や業績に従って公平に評価します。性別、人種、国籍、宗教、思想、身体上のハンディ、その他個人的な特性（LGBTQ 等）に基づいた差別は、いかなる場合であってもこれを行いません。はっきり差別と言えない場合でも不快感を与える言動は差し控えます。また、外国籍社員（外国人技能実習生等）の受け入れに伴う各種規制・ルールを遵守します。

### <ハラスメントの禁止>

パワーハラスメント、セクシャルハラスメント、妊娠・出産・育児休業等に関するハラスメント（マタハラ）等の各種ハラスメントは、相手に不快な思いを与え、また職場環境に悪影響を及ぼすためこれを許しません。

### <プライバシーの保護>

当社が保有する、役員・社員の個人情報は、これを厳正に管理し、本来の目的以外の使用は行いません。また、裁判所の命令等の正当な理由がない限り、本人の承諾なくこれを外部に開示することはしません。

### <結社の自由および団体交渉>

当社は、事業を行う国・地域の法令に従って、労働組合と社員代表を形成するすべての社員の基本的な権利を認めます。

## ■障がい者の雇用環境

障がいのある方が働きやすく、個人の能力に応じた配置、業務に就けるよう快適な職場環境作りに取り組んでいます。また各所にバリアフリー設備の導入も推進しています。



バリアフリートイレ

## ■女性の活躍

社内での女性の活躍を促進させるため、従業員の教育、育成に力を入れています。

【女性従業員*に占める役職者の割合】	
2020年9月	29%
2025年9月	33%

\*総合職、エリア限定職が対象

## ■外国人従業員の採用

内山工業の国内拠点において、積極的な外国人従業員の採用を行っています。グローバル化を進めるうえで海外取引先との円滑なコミュニケーションを図り、技術職の研修を行うなど、外国人従業員の人材育成にも力を入れています。

国	人数
ベトナム	6名
中国	5名
セルビア	1名
ブラジル	1名
ポルトガル	1名
韓国	3名
合計	17名

※2025年9月時点

## ■代表的な取り組み

— <ハラスメントに関する研修・啓発啓蒙活動> —  
従業員のハラスメントに関する意識、知識の向上のためハラスメント研修、アンコンシャスバイアス研修など各種教育を実施しています。また社内掲示板（WEB含む）にポスターを掲示することで、従業員の啓発啓蒙活動を行っています。



ハラスメント注意喚起ポスター

## ■労働に関する考え方

### <強制労働・人身売買の禁止>

事業を行う国・地域の法令に従い、従業員を合法的に雇用します。全ての労働は自発的なものとし、従業員が自由に離職できることを保証します。雇用の条件として、パスポートや公的な身分証明書、労働許可証の引渡しを要求しません。

### <児童労働の禁止>

雇用時に就労可能年齢に達していることを確認すること等により、全ての業務で児童労働をさせません。また、18才未満の若年者を、健全な発達を損なうような危険有害業務に従事させません。就労可能年齢は、15才または事業を行う国・地域の法令による就労最低年齢または義務教育終了年齢のいずれか最高のものとします。但し、職業訓練や見習いについては法令が認める範囲に限り就労を可能とします。

### <労働時間の管理>

従業員の労働時間（超過勤務時間を含む）は、事業を行う国・地域の法令が定める限度を超えないようにします。法令が定める休日や年次有給休暇の権利を与えます。

### <適切な賃金>

事業を行う国・地域の最低賃金、超過勤務、賃金控除、出来高賃金、その他給付等に関する法令を遵守し、従業員に給与を支払います。

## ■平均残業時間

従業員が健康で豊かに働けるよう、労働時間の短縮に取り組んでいます。従業員の残業時間を管理し、問題がある部署や個人の働き方改善を行ったり、計画的なノーカット残業率を設けるなど、働き続けられる職場環境を整えています。



## ■有給休暇・育児休暇

従業員一人ひとりに合う働き方を支援するため、積極的な有給休暇、育児休暇の取得を働きかけています。半日の有給休暇取得ができるように社内規定を整えたり、男性の育児休暇の取得率向上のため、従業員への呼びかけを行っています。

有給休暇取得率 (2024年4月～2025年3月)	38.6%	
育児休暇取得率 (2024年10月～2025年9月)	女性：100%	男性：50%

(対象者10名、取得者10名) (対象者14名、取得者7名)

### <育児に関する認定>

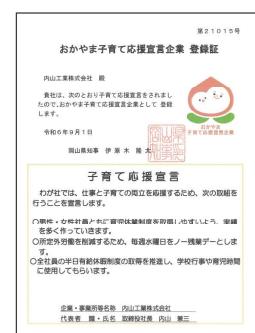
#### 【くるみん認定】

内山工業の育児支援の取り組みが認められ、岡山労働局より「くるみん」の認定を受けています。



#### 【おかやま子育て応援宣言企業認定】

内山工業株式会社は、2009年より継続しておかやま子育て応援宣言企業に認定されています。



## ■代表的な取り組み

### <専門技能習得制度>

業務において必要となる各種知識「安全」「原価」「品質・環境」「生産・改善」「保全」を、段階的に理解度を確認しながら身に付けられる学習制度を取り入れています。

専門技能習得制度 教育科目と内容	
安全	事業を遂行するうえで大前提となる、「職場の安全確保」について法的な要請なども含めて幅広く学びます。
原価	企業活動で利益をあげ、永続していくために必要となる、「原価」を中心とした収益の仕組みについて学びます。
品質・環境	お客様要求を満たすだけの高い品質の確保、環境規制等への対応をしていくための知識を学びます。
生産・改善	お客様の注文から、期限を順守した納入まで、生産を管理する各種手法、改善活動などを学びます。
保全	生産工場の設備オペレーターに求められる知識と、設備の保全管理に関する事項を学びます。

## 労働

### <社員食堂>

福利厚生の充実、健康促進のため 2023 年より研究所に社員食堂を新設しました。健康に配慮したメニューや日替わりのメニュー、軽食の売店やコーヒーマシンも備えています。約 80 席の広々とした空間で、地上 6 階からの自然豊かな景観を眺めながら、気分転換もできます。



内山工業赤坂研究所の社員食堂

### <クラブ活動>

社員同士の交流や健康維持、趣味の充実などを目的に、多数のクラブ活動を行っています。カート、アスリートラジコン、茶道、天文など、クラブ活動を通して部門をまたいだコミュニケーションに繋がっています。



レーシングカートクラブ



アスリートクラブ



ラジコン部

### <社員寮の提供>

従業員の希望に応じて、独身向け社員寮「南山寮」の貸し出しを行っています。従業員が働きやすい環境を整えるだけでなく、豊かな生活を送れるよう、サポート体制も強化しています。



南山寮

### <レクリエーション>

ウチヤマグループ大運動会は、毎回約 1,000 名が参加する一大イベントです。この他にも社員旅行やゴルフコンペなど、従業員が楽しんで参加できるレクリエーションを行っています。



2025 年ウチヤマグループ大運動会の様子



茶道部

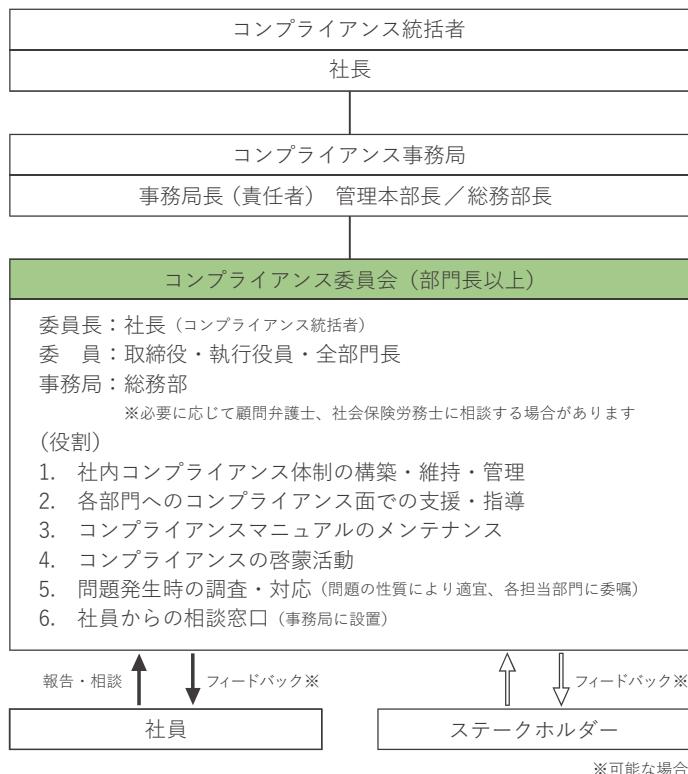
# コンプライアンス

## ■コンプライアンスの目的

当社は、お客様（販売先）、お取引先（仕入先、外注先など）、株主、銀行、社員やその家族など様々なステークホルダー（利害関係者）の存在の下に日々活動しています。これらステークホルダーのご要望にお応えするには、企業として当社が永続し発展し続けることが必要となります。利益を追求することは必要ですが、利益が健全な企業活動を通じて生み出されたものでなければ、企業の永続的な発展は望めません。この、健全な企業活動を「担保」するものが「コンプライアンス」なのです。「コンプライアンス」は、企業に法令の遵守を求めるだけでなく、高い倫理感を保持しながら活動をすることを求めてています。従って「コンプライアンス」は、企業で働く私たちにとって、「行動指針」と言えるのです。

## ■コンプライアンスの社内体制

社長を統括者として、コンプライアンスの社内体制を構築しています。従業員から報告、相談を受けやすく、また報告者及び対象者のプライバシーが守られるようコンプライアンス委員会を組織して、適切に対応できる環境を整えています。



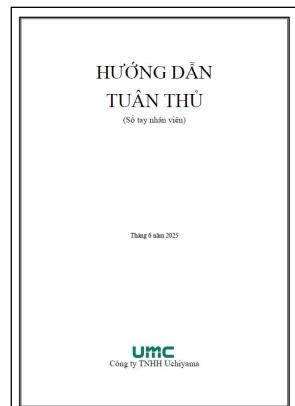
## ■代表的な取り組み

### —— <コンプライアンスマニュアルの配布> ——

コンプライアンス委員会にて策定したコンプライアンスマニュアルを全ての役員、従業員に配布し、認知の向上と啓蒙活動を行っています。企業の法令遵守を求めるだけでなく、高い倫理感を保持しながら活動することを求めてています。



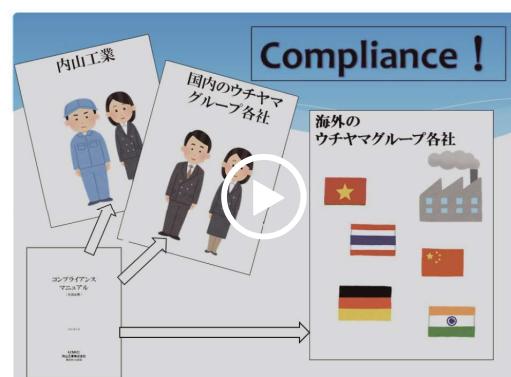
日本語版



ベトナム語版

### —— <コンプライアンス研修> ——

経営層、管理層、一般層の段階に合わせたコンプライアンスの考え方や要点の理解を深めるため、外部講師を招いてコンプライアンス研修を実施しています。また、eラーニングを利用した学習や各職場でコンプライアンスマニュアルの読み合わせを行うなど、個々の知識向上にも努めています。



コンプライアンスの e ラーニング講座

## ■ウチヤマグループ環境理念

ウチヤマグループは、環境保全のために全社一丸となり、美しい自然と調和できるものづくりを目指して、その向上と改善に努めます。

## ■ウチヤマグループ環境方針

ウチヤマグループは、お客様に満足していただける製品とサービスを提供し、企業活動が及ぼす環境への負荷を低減させるべく、以下の項目について推進していきます。

- 1) 限りある天然資源の有効利用に努め省エネルギー活動の推進、廃棄物の3R (Reduce, Reuse, Recycle) 活動、製品に含有する環境負荷物質の調査及び低減に取り組み、継続的に環境負荷を低減し環境汚染予防活動を推進します。
- 2) 関連する環境の法律規制及びお客様や近隣地域との取決め事項を遵守します。
- 3) 定期的な内部監査及び環境マネジメントシステムのレビューにより、継続的な改善を図ります。
- 4) この環境方針を環境マネジメントマニュアルに記載してウチヤマグループの全員に周知徹底し、環境に関する意識の向上に努めます。

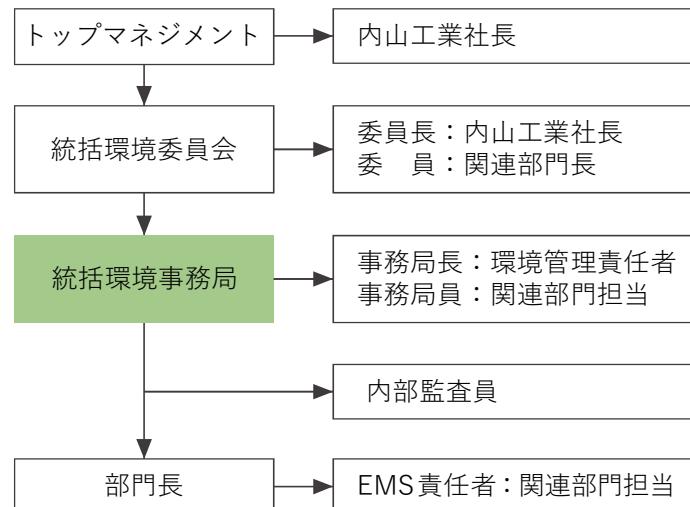
## ■環境マネジメントシステム（ISO14001）

企業活動による環境への負荷を最小限に押さえるため、環境マネジメントシステム「ISO14001」の要求事項に適合するマニュアルを策定しています。これを実施し継続的に改善することで、高いレベルでの環境への配慮、及び企業活動を維持する仕組みとしています。



## ■ISO14001 運用管理体制

社長を最高責任者とする ISO14001 運用管理体制を組織しています。CO2排出量削減など、持続可能な社会の実現に向けた活動が活発になり、ますます高くなる企業への要求に答えるため、組織一丸となり取り組みを進めています。

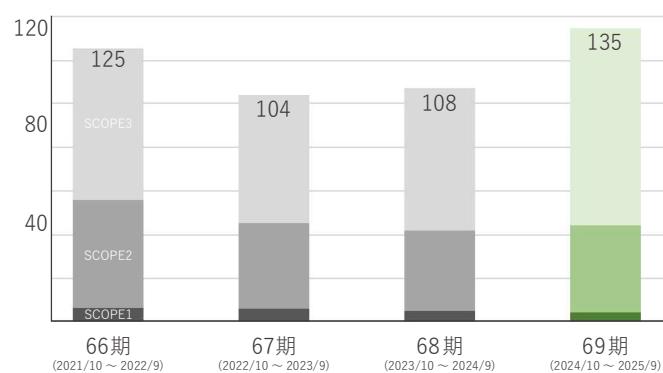


## ■長期環境目標と実績

ウチヤマグループは、66期（2021/10～2022/9）を基準年とし、毎年3%のGHG（温室効果ガス）排出量を削減することで、2030年の生産金額当たりの排出量（原単位）30%減を目指しています。SCOPE1から3まで事業活動に伴う全プロセスにおいて、GHG排出量の削減を実施していきます。

GHG の生産金額当たりの排出量（原単位）			
年度	実績 (t-CO2/ 百万円)	削減率 (66期比)	目標達成
66期 (2021/10～2022/9)	<b>3.4</b>	—	—
67期 (2022/10～2023/9)	<b>2.2</b>	<b>35%</b>	○
68期 (2023/10～2024/9)	<b>2.6</b>	<b>24%</b>	○
69期 (2024/10～2025/9)	<b>2.6</b>	<b>24%</b>	○
74期 (2029/10～2030/9)	<b>2.4(目標値)</b>	<b>30%</b>	

(千t-CO2) 【GHG 排出量の推移】

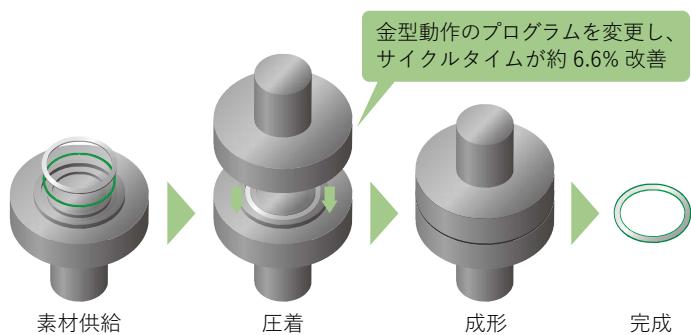


## ■製造に関する取り組み

### — <生産性の向上> —

ムダなく、効率的に生産活動をするために、生産性の向上を常に意識した活動に取り組んでいます。生産ラインにおいては、サイクルタイムを短縮するためにプログラムを変更するなど、生産性の向上を日々追求しています。

【シール製品のサイクルタイム短縮の一例】



### — <不良率の削減> —

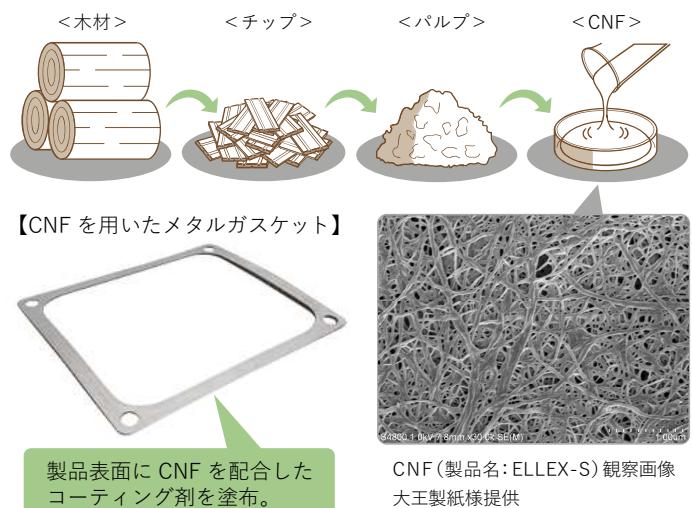
不良率削減のため、各生産現場では日々様々な改善活動を行っており、活動内容は定期的に改善報告会にて共有します。他拠点からの意見やアイデアを相互交換することでスキルを高め、全拠点での不良率の削減に役立てています。



## ■開発に関する取り組み

### — <CNFを用いたメタルガスケットの開発> —

木材を原料とした、CNF（セルロースナノファイバー）を用いたメタルガスケットを開発しました。CO<sub>2</sub>を固定化し環境負荷を軽減するだけでなく、製品の軽量化、補強性能による耐圧性向上にも寄与し、次世代の新素材として活用の幅を広げています。



### — <端材のアップサイクル製品の開発> —

自動車用ゴム製品の生産過程で発生する、ゴムの端材を原料とした歩行者用舗装材を開発しました。焼却処分していたゴム端材を再利用することでCO<sub>2</sub>削減へ貢献します。クッション性があるので歩行者のケガを防ぎ、表面のコルクが直射日光による温度上昇を緩和する、環境対応型の製品です。



## ■調達に関する取り組み

### ＜バイオスマスマテリアルの調達＞

環境対応型の製品開発を行うため、バイオスマスマテリアルの調達を推進しています。廃タイヤを原料に作られた充填剤（写真左上）や植物由来の原料で作られたポリマー（写真右下）等を調達し、製品開発に活用しています。



### ＜コルクの調達＞

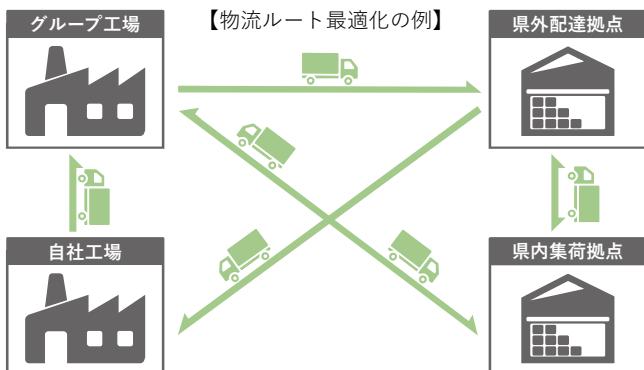
内山工業ではコルク栓やコルクフロアなど、コルクを原料とした製品を製造しています。コルクは約9年サイクルで再生するコルク櫻の樹皮から採取され、樹皮の再生の間に大量のCO<sub>2</sub>を吸収する環境維持に適した素材です。コルクを調達し、製品にすることで間接的に環境に貢献しています。



## ■物流に関する取り組み

### ＜物流ルート最適化＞

自社・グループ工場と県内集荷拠点をトラック3台で周回していた物流ルートを、県外配達拠点を含む運送効率の良いルートに最適化することで、製品の運送にかかるCO<sub>2</sub>排出量を約73t/月削減しました。※改良トンキロ法で測定



## ■全般に関する取り組み

### ＜再生可能エネルギーの導入＞

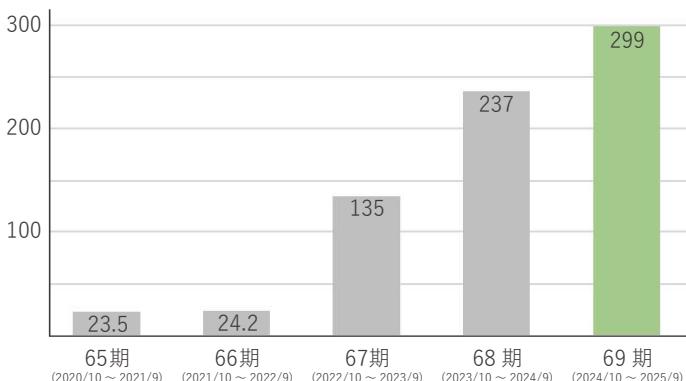
研究所や工場の屋上に太陽光発電装置を設置し、事業活動に必要な消費電力の一部をまかなっています。グループ全体で再生可能エネルギーの導入促進を進めています。



研究所の太陽光発電装置

(万kWh)

【国内拠点の太陽光発電による発電量の推移】



### ＜電力の見える化＞

生産活動における無駄な電力を削減するため、生産エリア毎の電力計測、見える化を進めています。稼働時間に沿って使用電力がグラフで表示され、無駄に電力を消費している原因の究明や、効率的な改善活動を実施するための参考データとしています。

押出 押出1号



使用電力のグラフ

### ＜エネルギーの低減活動＞

各工場ではエネルギーを低減するため、コンプレッサーから送られるエアー漏れの低減活動に取り組んでいます。聴覚チェックのみでなく、エアー漏れの発生箇所をセンサーで検出する設備を導入し、効率的な活動を行っています。



エアー漏れ箇所検出の様子

### ＜排水処理＞

各工場には排水処理設備を設け、各自治体または法律で決められた基準値を満たしたものをお出ししています。処理後の排水は水質が安定しているので、設備内でコイを飼育している工場もあります。



排水処理設備

### ＜産業廃棄物の削減＞

限りある資源の有効活用を図り、3R (Reduce, Reuse, Recycle) を推進し、循環型社会の構築に努めています。金属部品はリサイクル資源として買い取っていただき、再資源化を進めるなど、環境負荷を抑える取り組みを進めています。

# リスクマネジメント

## ■事業継続計画（BCP）の基本理念

ウチヤマグループはあらゆる潜在リスクに対応するための事業継続計画（BCP）及び危機管理として、平時から以下の基本理念を掲げて備えをし、危機が現実のものとなつた場合にその対応に当たる。

- ①人命最優先。人命（社員とその家族、来訪者）を守る
- ②企業の社会的責任を果たす

A：企業資産（工場建物、機械、設備、原材料、製品、半製品など）の保全

B：業務の早期復旧と継続、正常化

- ③企業の社会的信用の確保

A：お客様、取引先関係各社等に悪影響を及ぼさない

B：地域経済の早期安定化に貢献する

C：各種対応について常に人道面での配慮を優先させる

## ■企業リスクに対する危機管理の基本方針

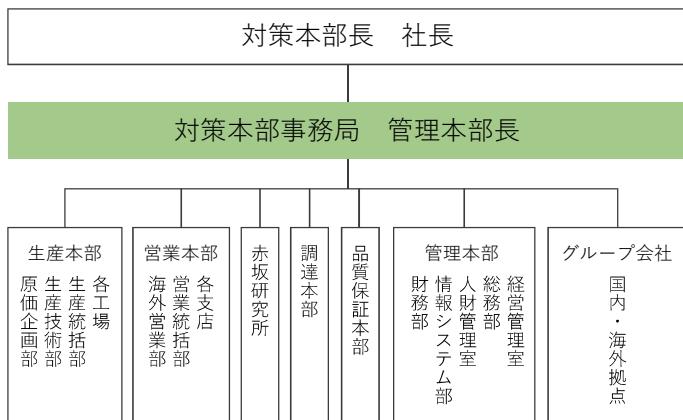
ウチヤマグループを取り巻くリスクの顕在化は、ウチヤマグループの業務及び地域社会において影響を及ぼす可能性があり、これに対する施策を経営の重要課題として位置付けし取り組む。ウチヤマグループのグローバル展開の進展により、海外拠点勤務者や海外出張者が日本国外でリスクにさらされる事を十分認識する必要がある。

以下を基本方針として掲げる。

- ・事実（情報）を正確に掴んだ上で、経営トップ（社長）が陣頭指揮をとり、部門長が率先して日頃の準備と発生時の対応に当たる
- ・事業活動に支障となる悪影響に対して、被害を極小化する
- ・対策の継続的な改善を図る
- ・対策に必要な資源を経営が準備する
- ・地域社会に対して企業としての責務を果たす
- ・緊急時に実施した人道的対応は、ウチヤマグループの一時的な不利益を引き起こしてもこれに対して責任を追及しない

## ■対策本部組織図

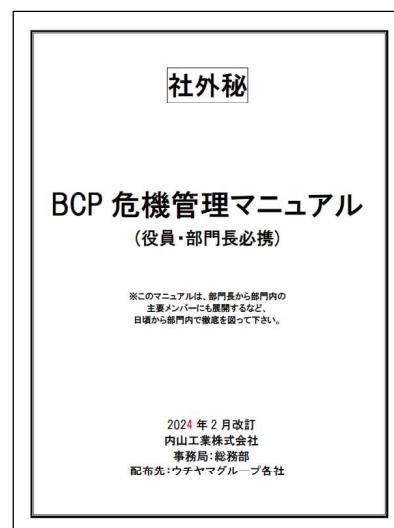
社長を対策本部長とした対策本部を組織し、緊急時の対応にあたります。対策本部長の補佐を行う組織を、対策本部事務局とし、緊急時の対応や各拠点のBCPの策定やリカバリープランの作成等、事前の計画策定を推進します。



## ■代表的な取り組み

### ＜BCP危機管理マニュアルの配布＞

事務局にて策定したBCP危機管理マニュアルを、役員・部門長に配布し、あらゆる潜在リスクが発生した場合を想定して、日頃からの対策、発生を想定した訓練及び緊急時対策に活用しています。

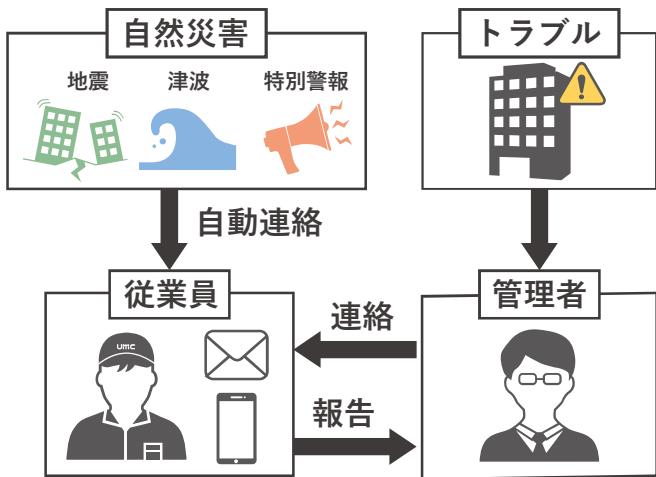


BCP 危機管理マニュアル

## リスクマネジメント

### <安否確認システムの導入>

予期しない自然災害（地震、津波、特別警報等）の際、登録した従業員の個人メールアドレスやスマートフォン専用アプリを通じ、迅速に安否確認を行うことができるシステムを導入しています。自然災害に限らず、社内外のトラブル時にも利用することができ、従業員の安全確保に努めています。



### <衛星電話の導入>

2018年の西日本豪雨では基地局の水没、電源喪失等の影響により、携帯電話が使えない地域があったことから、固定電話、携帯電話の次の連絡手段となる衛星電話を導入しました。高い確率で発生するとされる南海トラフ地震にも対応できるよう、設備を整えています。



衛星電話使用の様子

### <電気自動車の貸し出し>

社用車として電気自動車を利用しており、緊急事態の際は、非常用電源として貸し出しができるようにしています。屋外でもいつでも電気を使えるように、給電コネクターも備えています。



電気自動車給電の様子

### <衛生用品の生産・販売>

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、内山工業ではマスクなどの衛生用品を製造し、販売を行っています。コロナ禍では販売店からマスクが品薄状態となつたため、従業員、取引先、地域の皆様に安心して生活していただけるよう不織布マスク生産用の設備を導入しました。



内山工業が製造する不織布マスク「Uchiya マスク」

## リスクマネジメント

### ＜地区住民との意見交換会＞

内山工業邑久工場では、万が一の自然災害に備え工場が所在する岡山県瀬戸内市邑久町豆田地区の住民と、定期的な意見交換会を実施しています。自然災害、中でも洪水と地震への対策を重視する地区住民と共に通の認識に基づき、地区と企業が共に助け合えるよう協定を結び、工場を避難場所として活用するのみでなく、意見交換や防災訓練で関係を密にしています。



意見交換会の様子

### ＜災害協定の締結＞

内山工業赤坂工場は、2023年5月に岡山県赤磐市と山口区との間で、「災害における緊急一時避難所としての施設使用に関する協定」を締結しました。工場が所在する山口区に災害発生の恐れ、もしくは災害が発生したとき、工場が緊急一時避難所として避難者の受け入れが可能になりました。

同様に、ウチヤマグループの東洋コルク広島工場では、2018年10月に広島県竹原市との間で、「災害時における施設の提供協力に関する協定書」を締結し、地域住民の緊急時の安全・安心を確保しています。

### ＜簡易組み立てベッドの製造＞

ウチヤマグループの東洋コルクでは、自然災害等による避難所での利用を想定した、発泡ポリプロピレン製の簡易組立ベッド「床にポン」を製造しています。避難所での生活環境改善や身体への負担を軽減することができ、全国各所の自治体にて採用されています。

#### 簡易組立ベッド

# 床にポン！



東洋コルクが製造する  
簡易組立ベッド「床にポン」

### ＜飲料水の提供＞

ウチヤマグループの東洋コルク広島工場では、広島県竹原市の良質な地下水を使った飲料水「東洋の神秘」を製造しています。2018年の西日本豪雨の際は、断水が続く被災地に飲料水として提供しました。またウチヤマグループの各拠点でも非常用の飲料水としてストックしています。



東洋コルクが製造する飲料水「東洋の神秘」

# リスクマネジメント

## ■セキュリティ基本方針

ウチヤマグループでは、様々な有形・無形の情報資産（紙文書・特許情報・データファイル・ノウハウ等）を会社の重要な資産の一つであると位置づけ、これらの情報資産を適切に活用・保護するために以下の方針を定め、実施・推進します。

### 1. 法令順守

- ・法令・社会規範・社内規則の順守を徹底し、違法行為・規則違反には厳然たる態度で臨みます。
- ・第三者の資産・知的財産の不正使用や機密情報の不正入手はしません。

### 2. 資産保全

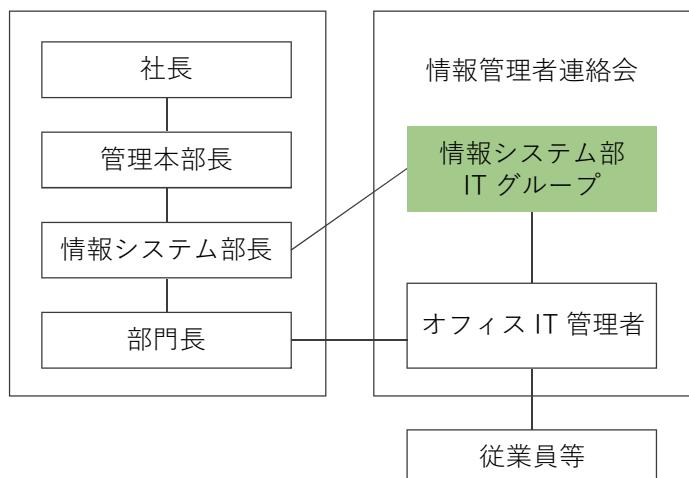
- ・情報資産の紛失・盗難・不正使用等が無いよう、また、効率的に活用できるよう、組織的、技術的に適切な対策を講じます。
- ・全ての従業員において企業機密、知的財産・個人情報等の重要性を認識し、保護するよう努めます。

### 3. 繼続性

- ・永続的に運用するため、この基本方針は定期的に見直します。

## ■情報セキュリティ管理体制図

情報セキュリティ管理体制を組織し、情報システム部ITグループが基本方針に沿って、必要なセキュリティ対策の実施及び維持を行っています。



## ■代表的な取り組み

### —— <情報セキュリティハンドブックの配布> ——

情報活用に潜むリスクを明確化し、リスクが問題に発展しないための対処方法をまとめた、情報セキュリティポリシーを、ハンドブックとして従業員に配布しています。



情報セキュリティハンドブック

### —— <情報セキュリティの認知活動> ——

情報は様々な形態で存在し、取り扱いを誤ると情報漏洩などの問題に発展します。益々重要となる情報セキュリティに対し、従業員一人一人が理解を深めるため、説明会、Eラーニング、出前講座等を通して認知力向上に努めています。



情報セキュリティの出前講座

## 社会貢献

### ■ 基本的な考え方

私たちは、地域社会に支えられ事業活動を継続することができます。子育て応援や学生への奨学金支援、その他様々な事業活動及び社会貢献活動を通じて、地域との繋がりを大切にします。自らが社会の一員であることを認識し、ともに発展していくよう努めます。

### ■ 代表的な取り組み

#### 〈企業内保育園〉

多くの従業員が勤務する岡山県赤磐市では、企業内保育園「のびのびぞうさん保育園」を構えています。従業員のお子様はもちろん、地域住民のお子様も入園することができ、地域の子育て応援を行っています。



のびのびぞうさん保育園の様子

#### 〈大学生への奨学金支援〉

内山工業の将来を担う学生を支援するため、大学生向けの奨学金支援を実施しています。内山工業へ入社することで、条件に応じて貸与額の返済義務免除、毎月の返済額の半額を完済まで給与支給するなど、多数のプランで学生を応援しています。



奨学金支援制度のポスター

#### ――――――<学生フォーミュラチームへの協賛>――――――

全日本学生フォーミュラ大会※に参加する、岡山大学及び名古屋大学のフォーミュラチームのスポンサーとして、活動資金援助、バーツ作製、定期活動レポートへのコメント等を行っています。また、研究所の駐車場にテストコースを敷設し、休日には車両走行データの取得のために貸出を行っています。

※全日本学生フォーミュラ大会とは、「ものづくりによる実践的な学生教育プログラム」として、学生がレーシングカーの企画、設計、製作、競技を行い、走行性能だけでなく販売コンセプトや収益性など、ものづくりの総合力を競う大会です。



岡山大学フォーミュラチーム



名古屋大学フォーミュラチーム



研究所の駐車場兼テストコース

## 社会貢献

### <仕事体験の実施>

大学生を対象にした、1Day 仕事体験及び長期インターンシップの受け入れを実施しています。1Day 仕事体験は、学生の興味のある分野を選択して、交流・業務体験を行うことができる実体験型のプログラムです。長期インターンシップは、2～3か月間学生に就業していただき、スキルの習得や企業を知っていただく場としています。



1Day 仕事体験の様子

### <研究所・工場見学>

内山工業赤坂研究所や工場では、企業への理解を深める活動として、拠点内の見学会を行っています。普段は目に見えない製品が、どのように開発され生産されるのか、現地での見学を通して、丁寧に説明しています。



研究所見学の様子



工場見学の様子

### <イベントの出展>

協賛したイベントへのブース出展や、コルク素材を使ったワークショップ等に参加しています。コルクは環境に負荷をかけないサスティナブルな素材です。イベントやワークショップを通じてコルクの魅力を伝え、身近に感じてもらう取り組みを行っています。



おかやまマラソン EXPO2024 の様子



コルク素材を使ったワークショップの様子

## 社会貢献

### <地産地消への取り組み>

ウチヤマグループの kibi foods では、岡山県吉備中央町の豊かな自然を活かし、ワイン、お米、ブルーベリー、里芋など様々な農作物を提供しています。ぶどうの栽培から醸造まで一貫して行う kibi VALLEY が 2020 年に完成し、醸造した「kibi ワイン」は、吉備中央町の道の駅、ふるさと納税の返礼品として、また岡山県内のスーパー やデパートで販売するなど、地産地消の取り組みを行っています。



ワイン醸造所の kibi VALLEY



kibi ワイン

### <地域の清掃活動>

地域貢献として、社員寮のある地域及び内山工業本部周辺、所属団体の活動に応じた清掃活動を定期的に行って います。ゴミのないきれいな街づくりを応援するだけ なく、地域の方との良好な関係を築くことも大切にして います。



清掃活動の様子

### <不織布マスクの提供>

内山工業では、自社で生産している不織布マスク約 58,000 枚を、災害対策の備蓄用や教育施設などの事業用として、岡山県赤磐市に提供しました。



### ■ 基本的な考え方

ウチヤマグループが持続的に発展していくためには、お客様、取引先、地域社会、従業員との信頼関係が不可欠であると考えています。企業活動についてステークホルダーの皆様に正しく理解していただくために、適切な情報を開示するように努め、皆様から信頼される企業を目指します。

### ■ 情報開示

2024年からCSR活動等に関して、皆様に詳しくお伝えするため「サスティナビリティーレポート」を開示しました。「行動計画」「女性の活躍に関する情報公表」と共に、ホームページにて開示します。

### ■ 情報開示の範囲

#### <報告対象期間>

69期（2024年10月～2025年9月）の活動を中心に、それ以前からの取り組みや直近の内容を含んでいます。

#### <報告対象範囲>

内山工業の活動を中心に、ウチヤマグループ全体、もしくはグループ会社単体の取り組みを含んでいます。

### ■ 対話の機会の充実

ステークホルダーの皆様とのコミュニケーションを円滑にするため、対話の機会の充実を図っています。

ステークホルダー	主な対話の機会
お客様	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会社案内、各種パンフレット</li> <li>・ホームページ、企業SNS</li> <li>・サスティナビリティーレポート</li> <li>・商談、監査時等による意見交換</li> <li>・展示会、イベント</li> <li>・お客様アンケート</li> </ul>
取引先	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会社案内、各種パンフレット</li> <li>・ホームページ、企業SNS</li> <li>・サスティナビリティーレポート</li> <li>・商談、監査時等による意見交換</li> <li>・展示会、イベント</li> <li>・サプライヤーCSRガイドライン</li> </ul>
地域社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学との産学連携、協賛</li> <li>・各地域のイベント参加</li> <li>・地域貢献活動</li> <li>・ホームページ、企業SNS</li> <li>・サスティナビリティーレポート</li> </ul>
従業員・OB等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページ、インターネット、企業SNS</li> <li>・サスティナビリティーレポート</li> <li>・社内報</li> <li>・持ち株会</li> <li>・研修、セミナー</li> <li>・各種相談室</li> <li>・社員面接</li> <li>・社内掲示</li> <li>・レクリエーション</li> </ul>

ウチヤマグループの関係者とのコミュニケーションツールとして、社内報を年3回発行し、従業員、OBに配布しています。企業の思いや普段知ることのない自部門以外の取り組みを共有し、グループ全体の結束力を高めています。



2025年冬の社内報

## ■ウチヤマグループ品質方針

### 品質方針

人材の質、仕事の質、製品の質  
この質の向上を絶えず意識し  
地球上のすべてのお客様に喜んでいただき  
満足していただける製品とサービスを  
提供いたします

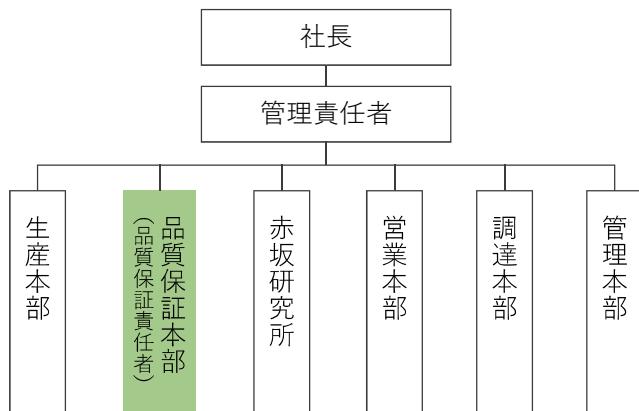
## ■品質マネジメントシステム（IATF16949）

「IATF16949」は、品質マネジメントシステム ISO9001 をベースに自動車業界の規格を統合した、包括的な品質マネジメントシステムです。活動による不具合予防、並びにサプライチェーンにおける継続的改善を実施するため、IATF16949 の要求事項に適合するマニュアルを策定しています。



## ■IATF16949 運用管理体制

社長を最高責任者とするIATF16949 運用管理体制を組織しています。品質保証本部が品質保証責任者となり、継続的改善を実施することで、世界品質を維持できる組織作りを行っています。



IATF16949 取得拠点	
<内山工業>	
・赤坂工場	・邑久工場
・御津工場	
<国内グループ>	
・エヌイーシール 3 拠点（吉備高原工場、久米南工場、美原工場）	
・ユーサン精密 2 拠点（第 1 工場、第 2 工場）	
・ユーサンガスケット 2 拠点（御殿場工場、富士工場）	
<海外グループ>	
・ウチヤマアメリカ製造	・ウチヤマポルトガル
・廣州内山工業有限公司	・ウチヤマベトナム
・ウチヤマユカタン	

## ■ 代表的な取り組み

### <QCサークル活動>

ウチヤマグループでは品質の向上のため、QCサークル活動に力を入れています。チームで課題を見つけ議論し、その改善策の実行から効果測定まで行っています。積極的なQCサークル活動により、自ら考え、学び、行動する能力を向上させ、活力ある職場作りを目指しています。



2025年度 QC サークル活動表彰式の様子

2025年度のQCサークル活動では、コルク製品の製造部門である内山工業岡山第一工場が実施した、「コルクのこぼれ粒改善」の提案が最優秀賞を受賞しました。従来は、原料のコルク粒の搬送をベルトコンベアを用いて、粒に含まれる異物を取り除く設備を使用していましたが、コンベアの搬送中に粒がこぼれ、材料ロスだけでなくこぼれたコルクが設備に混入する故障のリスクも生じていました。サークルメンバーで従来の設備の構造を確認・共有して、コンベアを使用しない方法で搬送し、且つ、異物除去を行う設備改善に取り組みました。これにより、大幅に材料ロスを改善し、電気代等のコスト削減や設備故障のリスク低減にも繋がる提案となりました。



こぼれ粒改善実施後の設備の様子

### <社内表彰制度>

品質保証活動の取り組みにより、1年を通してクレームが0件だった拠点に対し、社内表彰を行っています。従業員のモチベーションを向上させ、さらなる品質向上に繋がる制度を導入しています。



### <品質に関する表彰例>

ウチヤマグループのエヌイーシールでは、最高水準の品質が評価され、「2024 GM Supplier Quality Excellence Award」を受賞しました。



内山工業は日産自動車(株)様より、2021年度のSSC(Supplier Score Card)トップランクとして優良品質感謝状をいただきました。市場品質、納入品質、不具合対策等の目標を達成し、本評価をいただきました。



## ■ 基本的な考え方

ウチヤマグループの事業活動は、多くのサプライヤーに支えられて成り立っています。サプライヤーの皆様と持続可能な取り組みを行うため、基本的な方針を「サプライヤーCSRガイドライン」にまとめ、共有しています。その中で、「安全・品質・コンプライアンス」を優先課題と位置づけ、経営を支える基盤を強固にしながら、社会の期待に積極的に応えていくことを目指して取り組みを進めています。遵守すべき事項を「コンプライアンスマニュアル」「BCP危機管理マニュアル」等に定めるとともに、教育や啓発などの研修活動を通じて、役員や従業員に周知・徹底し意識向上を図っています。その上で安全な製品の提供、環境問題への対応、人権・労働問題への配慮など、社会からの期待にしっかりと応えていけるように取り組んでいます。

## ■ サプライヤー CSR ガイドライン

サプライヤーの皆様と共に持続可能な取り組みを行うため、2020年に「サプライヤー CSR ガイドライン」を策定しました。サプライヤーの皆様に遵守していただきたい内容を明記し、共有することで、適切な取引を維持しコミュニケーションの向上にも繋がっています。

分野	項目
コンプライアンス	法令や企業倫理を遵守するための仕組みづくり 競争法の遵守 腐敗防止 反社会的勢力との関係遮断 輸出入関連法規の遵守 知的財産の保護 機密情報・個人情報の保護 安全で高品質な製品・サービスの提供
人権・労働	差別の撤廃 人権の尊重 児童労働の禁止 強制労働・人身取引の禁止 労働時間の管理 適切な賃金 結社の自由・団体交渉 安全・健康な職場づくり
環境	環境マネジメントシステムの構築と運用 環境関連の法令遵守と行政手続きの実行 環境汚染防止 地球温暖化対策の推進 省資源対策の推進 生物多様性の保全
地域社会	地域への貢献 責任ある資源・原材料の調達
リスク	リスクの低減 事業継続計画（BCP）の策定と改善
情報開示	
皆様のサプライヤーへの展開	

## ■ 代表的な取り組み

### ＜グローバル調達の推進＞

ウチヤマグループでは、世界各国のサプライヤーと連携し、調達活動を行っています。グローバルのお客様に良い製品を提供するために現地調達化を強化し、高品質な製品を適切な価格で、安定して提供ができるものづくりを推進しています。

### ＜サプライヤーのリスク管理＞

外部機関を利用したリスク評価のみでなく、一定のサプライヤーには定期的に監査に訪問し、直接評価を行っています。また新しく取引を始めるサプライヤーには、評価表等を用いて、経営・財務状況、CSR遵守等、多方面からの評価を行うことで、リスク管理を行っています。

### ＜紛争鉱物への対応＞

ウチヤマグループは、紛争の資金源を遮断することで人道危機を抑制するため、紛争地域及び高リスク地域原産の鉱物に関し、紛争と無縁の鉱物の調達を目指します。また、責任あるサプライチェーンを管理するため、紛争鉱物のデューディリジェンスプログラムを導入し、合理的な管理を行えるよう、サプライヤーと協議します。

### ＜パートナーシップ構築宣言＞

内山工業は、内閣府、経産省等をメンバーとする「パートナーシップ構築宣言」に賛同しました。本宣言は、サプライチェーンの取引先や事業者の皆様との連携を進めることで、新たなパートナーシップを構築することを、発注者側の立場から宣言するものです。

